

2020年7月ドミニカ共和国内政、外交、経済定期報告

在ドミニカ共和国日本国大使館

1 内政

(1) 総選挙

ア 5日、大統領選挙、上下両院議会議員選挙が実施された。

イ 5日23時10分、アビナデル現代革命党（PRM）候補は支持者を前に「中央選挙委員会から未だ公式な発表は行われていないが、開票経過は我々の勝利が不可逆的であることを明示している。我々は勝利した。我々は勝利への希望と不安をもって恐怖に打ち勝った。我々は民主主義で最も重要な投票に行くという役目果たしこの国の将来を救った。誠実且つ透明性の高い政府をもって成長及び変革を実現する」旨述べ、勝利宣言を実施。

ウ 5日23時16分、フェルナンデス国民勢力党（FP）候補はツイッターを通じて「我々はアビナデル候補がドミニカ共和国国民の多数の票をもって2020-24年の大統領に選出されたことに祝意を表明する」とのメッセージを発信し、事実上の敗北宣言を行った。

エ 6日0時、カスティージョ与党ドミニカ解放党（PLD）候補は記者団に対し、「中央選挙委員会の発表を待っているところであるが、開票経過は結果が不可逆的であることを示している。この時をもって時期大統領は選出された。8月16日よりアビナデルPRM候補がドミニカ共和国国民の大統領である。アビナデル候補に祝意を表明する。懸命に国の統治を行うことができるようアビナデル候補に神の導きと祝福があらんことを祈る。すべての国民の繁栄と幸福の道が続くことを希望する」と述べ、敗北宣言を行った。

オ 14日、中央選挙管理委員会（JCE）は、5日に実施された大統領選挙の公式開票結果を発表（投票率55.29%）：アビナデル現代革命党（PRM）候補2,154,866票（52.52%）、カスティージョ・ドミニカ解放党（PLD）候補1,537,078票（37.46%）、フェルナンデス国民勢力党（FP）候補365,226票（8.9%）、モレーノ国家同盟党（ALPAIS）候補39,458票（0.96%）、レジエス制度的民主党（PDI）候補3,484票（0.08%）、コーエン市民意志国家党（PNVC）候補3,250票（0.08%）。

カ 17日、中央選挙管理委員会（JCE）は、5日に実施された国会上下院議員、同下院議員及び中米議会議員の開票結果を公表。上院議員：現代革命党（PRM）18議席、ドミニカ解放党（PLD）6議席、国民勢力党（FP）4議席、キリスト教社会改革党（PRSC）2議席、民主的社会制度連合（BIS）1議席、ドミニカ変革党（DXC）1議席。下院議員：現代革命党（PRM）90議席、ドミニカ解放党（PLD）75議席、キリスト教社会改革党（PRSC）6議席、国民勢力党（FP）4議席、ドミニカ

革命党 (PRD) 3 議席、民主同盟党 (APD) 2 議席、拡大戦線党 (FA) 2 議席、国家同盟党 (ALPAIS) 1 議席、民主的社会制度連合 (BIS) 1 議席、拡大戦線党及びドミニカ人道党 (FA-PHD) 1 議席、市民革新党 (PCR) 1 議席、ドミニカ人道党 (PHD) 1 議席、キリスト教民主党 (PPC) 1 議席、改革解放党 (PLR) 1 議席、民主的社会改革党 (PRSD) 1 議席。

(2) 政権移行

ア 6 日、メディーナ大統領は大統領令を通じて政権移行委員会メンバー (モンタルボ大統領府大臣、ペラルタ大統領府官房大臣、ゲレーロ財務大臣、ヒメネス経済企画開発大臣他) を発表するとともに、各大臣、中央及び地方行政機関の長に対し、政権移行に向けた情報の準備を指示した。

イ 8 日、アビナデル次期大統領は政権移行委員会のメンバー (マカルージャ PRM 党大統領選挙対策委員長、パリサ PRM 党首、グスマン元商工大臣等) とともに、メディーナ政権側の政権移行委員会に対応する「移行専門委員会」、「人事評価委員会」、「行事・儀典委員会」の 3 委員会の立ち上げ並びに 9 日からのメディーナ政権側政権移行委員会との作業開始を発表した。

ウ 24 日、アビナデル次期大統領は、8 月 16 日以降、統廃合または再編する公共機関を評価するハイレベル委員会を任命。

(3) 新型コロナウイルス

ア 1 日、新型コロナウイルス感染拡大防止を目的として 3 月 20 日から継続されてきた空港閉鎖が解除。

イ 20 日、メディーナ大統領は大統領令を通じて国家非常事態宣言を再発令 (45 日間) するとともに、20 日間の夜間外出禁止を含む新型コロナウイルス感染拡大防止措置を発表。

ウ 28 日、モンタルボ大統領府大臣は、新型コロナウイルス感染症に係る水際対策の一環として、7 月 30 日より入国希望者に対して PCR 検査結果の提示を求める旨発表。

(4) その他

ア 14 日、メディーナ大統領は、首都国家特別区北部の 45 万人以上の住民に利益をもたらすとされる、ミラドール・ノルテ・スルサ排水処理場の開設式に出席。

イ 21 日、メディーナ大統領は、バラオナ県の大学病院及びサン・クリストバル県とペレビア県においてプライマリーケア・診断センター 2 軒の開設式に出席。

ウ 22 日、メディーナ大統領は、再建及び拡張されたナバレテープエルト・プラタ間の高速道路及び北西線の 5 つの高速道路の開通式に出席。

エ 24 日、メディーナ大統領は、サン・ペドロ・デ・マコリス県、ラ・アルタグラシア県、モンテ・プラタ県、エル・セイボ県、アト・マジョール県の学校 19 校、ラ・ロマーナ県とラ・アルタグラシア県の保育園 3 校の開校式に出席。

オ 28 日、メディーナ大統領は、南部 7 県の学校 25 校、保育園 3 校の開校式

に出席。

カ 29日、メディーナ大統領は、東部イグウェイ市の入口再建及び拡張、アト・マジョールーエル・セイボ間、アト・マジョールージェルバ・ブエナ間の自動車専用道路、コラル幹線道路等の開所式・開通式に出席。

キ 29日、メディーナ大統領は、総投資額2,454百万ドル、総出力752メガワットとなるペラビア県バニ市におけるプンタカタリーナ石炭火力発電所の開所式に出席。

ク 29日、メディーナ大統領は、職業訓練庁（INFOTEP）における近代的な建物の開校及びバーチャル訓練施設の開所式に出席。

2 外交

(1) 6日、ハイチ、ベネズエラ、グアテマラ、カナダ、スペインは、今次大統領選挙によるアビナデル現代革命党（PRM）候補の勝利を祝福。

(2) 7日、オルタガス米国国務省報道官は、ドミニカ（共）の民主的な選挙を祝福し、選出されたアビナデル次期大統領と連携することを期待している旨発表。同日、中国や英国もアビナデル現代革命党（PRM）候補の勝利を祝福。

(3) 14日、ポンペオ米国務長官はアビナデル次期大統領と電話会談を実施。ポンペオ国務長官は祝意を表明するとともに、自由、公正かつ、透明性のある総選挙の成功についてドミニカ（共）国民を賞賛。米国がアビナデル次期政権と共働していくことを再確認した。

(4) 22日、新型コロナウイルス対策に関する中国・ラ米カリブ外交特別会合（オンライン）にバルガス外務大臣が出席。バルガス外相は、各国の現状に適した解決策の実施を含め、新型コロナウイルス感染拡大に対する世界的かつ協力した対応の強化を繰り返し呼びかけた。

(5) 24日、中国はドミニカ（共）政府に対し、人工呼吸器50台、マスク、手袋、医療従事者用防護服、PCR検査キット等、合計192,000点の医療・防護用資機材を供与。バルガス外務大臣は、中国が協力可能な分野として貿易、投資、エネルギー、交通機関、インフラ等について言及。

(6) 30日、タベラス次期青年大臣は、Zhang Run当地中国大使と会談、ドミニカ（共）の青年の関心のある問題や、大卒者の専門的知識の開発等について議論した他、ドミニカ（共）の学術的及び技術的発展への投資についても言及。

(7) 31日、ドミニカ（共）及びハイチの民間セクターの代表者は米国国務省の代表者とオンライン会談を行い、ドミニカ（共）とハイチにとってより安全で繁栄した国境の開発について議論を実施。2019年6月以来、米国が招集した4回目の会談となる。

3 経済

(1) 3日、銀行監督庁は2020年1月から5月の間のドミニカ（共）への家

族送金額が23億7,100万米ドルに達したと発表。前年同時期とほぼ同じ水準。

(2) 7日、エコノミストのラファエル・エスピナルとアントニオ・チリアコは、短期的に、政府は最も脆弱な人々の収入を維持するための社会的プログラムを維持する必要があると指摘。また、エコノミストのミゲル・セアラ・ハットンは、新政府は、経済回復のため国の制度的枠組みを強化する必要があると指摘（「オイ」紙）。

(3) 21日、税関総局（DGA）は、2020年1月から6月の間におけるドミニカ（共）の輸出が6.89%減少したと発表。鉱物（金、真珠等）の輸出は5.17%減少。